

デジタル変革の鍵！

ローカルベンチマークで実現する 高収益DX戦略セミナー

企業経営の健康診断・見える化で 潜在的“稼ぐ力”の源泉を把握！

本セミナー及びワークショップでは自社の強みを掘り起こし、変革のポイントを見つけ出すための考え方とDXに向かう第一歩となる経営状況の把握ツールである「ローカルベンチマーク」の活用について解説を行い、高収益体質へのDX化に必要な視点とプロセスを養います。

また、具体的な自社分析・ロードマップ作成のノウハウを学ぶことで、経営環境の見える化の達成やデータの見方の習得を目指します。

2024年11月22日(金) 10時00分～12時00分 9時30分
開場

場 所 テクノプラザものづくり支援センター
(各務原市テクノプラザ1-1)
※オンラインでも参加いただけます。

申込みはこちら
(11月15日(金)締切)



対象者 企業経営者または経営層 (先着順)

ローカルベンチマークとは？

ローカルベンチマーク(略称:ロカベン)とは、企業の経営状態の把握、いわゆる「企業の健康診断」を行うツールです。企業の経営者と金融機関・支援機関等がコミュニケーション(対話)を行いながら、ローカルベンチマーク・シートなどを使用し、企業経営の現状や課題を相互に理解することで、個別企業の経営改善や地域活性化を目指します。

受講料
無料

定員(先着)
40名

【主催】テクノプラザものづくり支援センター 指定管理者ブイ・アール・テクノセンター

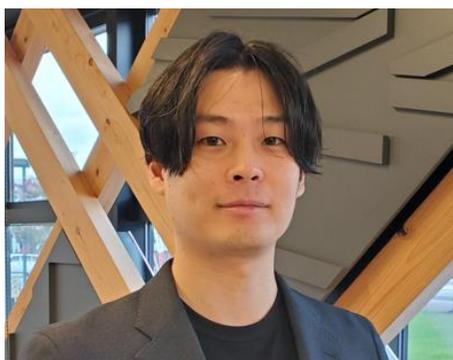
講師プロフィール



万年 貴弘 (まんねん たかひろ) シニア・マネジャー

アクセンチュア株式会社
テクノロジー コンサルティング本部

- SIer企業でSE、コンサルタントとして勤務後、2010年アクセンチュア入社
- 素材、機械、消費財メーカーを中心に業務・システム全般について企画、要件定義、設計、開発、導入、保守運用支援を10年以上経験
- ERPを活用した全社改革経験多数。特に財務・管理・連結・IFRS・グローバルといった会計領域を専門領域としている



吉良 栄一郎 (きら えいいちろう) コンサルタント

アクセンチュア株式会社
テクノロジー コンサルティング本部

- 2019年アクセンチュアに新卒入社
- SEとして鉄道会社の人事給与システムの新規機能設計・開発・保守運用を経験後、中小製造業生産性向上プロジェクト (CMEs) 参画。機械製造メーカー、食品企業へのCMEs導入・業務改革を複数社経験
- ERPの中でも生産計画・販売・購買などとりわけロジスティクスやデータ移行を専門領域としている

ローカルベンチマーク・ロードマップ

11月

12月

1月

2月

3月

ローカルベンチマークを学ぶ

経営高度化に向けたはじめの一歩

社内展開

○ローカルベンチマーク説明セミナー

★今回のご案内はこちら

ローカルベンチマークの目的とワークショップの説明から始まり、ワークショップで行うアクティビティのデモプレイを通し、ロカベン理解度を深めます。

<アジェンダ>

・ローカルベンチマークWS概要

ローカルベンチマークの概要とWSの目的や流れを講義形式で説明

・業務フローの整理

WSで実施するアクティビティである業務プロセスの整理を、代表1社にてデモプレイ

・ローカルベンチマークの活用方法

WS内のアウトプットイメージとロカベンを活用した分析手法の簡易紹介

○ローカルベンチマークワークショップ (WS)

全3回で構成されており、全てのワークショップにご参加いただけます。(参加無料)

定期的な経営診断や経営に関する社内コミュニケーションの活性化の重要性を再認識することで、経営管理のローリング概念の定着化や社内コミュニケーション活性化の土壌の醸成を図ります。

○第1回(12月下旬開講)

自社IT可視化ワークショップ

・財務数値の確認

・経営理念と事業の確認

○第2回(1月中旬開講)

ローカルベンチマークワークショップ

・ローカルベンチマークの概要

・業務フローの整理

○第3回(2月中旬開講)

データ活用ワークショップ

・ローカルベンチマークの構成

・活用方法

【お問合せ先】

テクノプラザものづくり支援センター指定管理者

株式会社バイ・アール・テクノセンター 研修部

〒509-0109 岐阜県各務原市テクノプラザ1-21

TEL : 058-379-6370

E-mail : mono-kensyu@gifu-techno.jp

